

そこら

第5号



東近江の
いいとこ
いいひと
見つける本

そくら contents

- 1 目次
- 2 特集 ローカルサミット in 東近江
- 4 蒲生野と天智朝の万葉文化を歩く
- 6 惟喬親王伝承と山の文化を訪ねて
- 8 陸軍八日市飛行場と近代化遺産
- 10 高校生と考える、このまちの未来
- 14 伝統を紡ぐ真田紐
- 16 野菜はおもしろい！
- 18 学生とつくるロゴマーク
- 20 イヌワシに会いたい
- 23 地球を遊びつくそうぜ
- 24 本町商店街をめぐる物語
- 28 看板猫に会いに 湖東味咲館
- 29 東近江市の地酒はいかが？
- 30 よし葺屋根のおうち
- 32 ガチャもり
- 36 60年に1度のお祭り
- 38 「百済寺樽」の物語
- 40 東近江MAP

確かな未来は
懐かしい過去にある

✓ Keynote Speech



「びわ湖から望む東近江の未来—琵琶湖の魚たちの想い—」 田中 克 (京都大学名誉教授)

自然と自然、自然と人、人と人、その「間」をなくしたことが、今の疲弊し乾燥した社会の要因だろうと思います。

現在愛知川の中下流域はいつも瀬切れしています。川に水が流れない流域に、豊かな暮らしと文化は再生しません。持続的に命が循環する自然をベースに据えたまちづくりをしてほしい。

自然資産は守り続けなければ崩れてしまう。一度崩すとその再生にはおそらく半世紀以上の時間がかかる。今一度立ち止まって先人の知恵に学び、すべての価値判断基準を未来世代の幸せを第一にして考えていく必要があります。今は、これまで自然と人とのつながりを再生しようとしてきた取り組みを本流化できるかどうか試されている時代でもあります。

【ローカルサミット in 東近江 基調講演より】



「強い国家から、しなやかな社会へ」 内山 節 (哲学者)

近代国家を維持しているメリットが薄れ、そのシステムが壊れはじめている現在、かつてのような安定を取り戻すには、富を独占する「強い国家」を作ればなんとかなるのではないかなというような淡い期待も生まれるようになった。一方でそれで良いのだろうかと問い直す動きもある。

「自分のために生きる時代」は戦後から続いている。しかしそれを「共に生きる時代」へと転換させることは可能だ。自然と共に社会を作ってきた日本には、地域社会の基盤を作ってくれたご先祖様とともに今もあるという独特の社会観がある。

未来のヒントを過去に求めながら、集権的、強権的巨大システムからの脱却を目指すあり方が今問われている。

【ローカルサミット in 東近江 基調講演より】

ローカル サミット in 東近江

探そう。懐かしい未来を。

これまでの経済中心の成長至上主義から、自然との共生・循環を大切にする価値観への転換を共有し、地域活性化を目指す「ローカルサミット」。全国各地で行われてきたこの取り組みが、2017年12月東近江市において開催されました。3日間、全国から350人が集い、フィールドワークや分科会で地域の未来が熱く語られました。

東近江市ローカルサミット宣言

1. 命のふるさと海（湖）・水と共に生きる社会の再生
2. 強権的システムに従属した生き方から自分達で生きる場を創造する時代へ
3. お金に振り回されず、お金に意思を込めて、お金の流れを変えて未来を創る

course



かわけたみかべじんじや
河桁御河辺神社
東近江市神田町381

万葉の森 船岡山
東近江市糠塚町・野口町

あかね古墳公園
東近江市川合町1386

宮井廃寺
東近江市宮井町

ちょっと休憩



やまべ しやくにんじ
山部神社と赤人寺
東近江市下麻生町214

ガリ版伝承館
東近江市蒲生岡本町663

いしどうじ
石塔寺
東近江市石塔町860

所要時間
5 時間



最後に、石塔町のペットボトルイルミネーションを鑑賞。点灯時間より早く灯りをつけて出迎えてくださった地元の方のご厚意に胸が温まりました。

高部晴市さんのガリ版作品



休憩をとったあとは、**山部神社**と隣接する**赤人寺**へ。百人一首に登場する山部赤人が開いたと伝えられています。寺の裏手には、湖東流紋岩で作られた石造七重塔（国指定重要文化財）があります。

次に**ガリ版伝承館**へ。ちょうど絵本作家の高部晴市さんの原画展を開催中。堀井新治郎氏がガリ版を発明したのは、シカゴ万博に出展されていたエジソンの増写版との出会いがきっかけと聞き、一同から驚きの声。

そしていよいよ、**石塔寺**へ。白洲正子や五木寛之が絶賛したと言われている飛鳥時代に建てられたと伝わるお寺です。約150段の階段を必死に上がった先にそびえる、素朴でありながら洗練された石塔の佇まい、そして周囲を取り囲む無数の石仏たちには、思わず息を呑むような力が感じられます。参加者の一人が記念に撞いた美しい鐘の音が山々に響くのを聞きながら、はるか昔海を渡ってきた先人たちに想いを馳せました。

LOCAL SUMMIT field work 01

蒲生野と天智朝の万葉文化を歩く

「茜さす紫野行き標野行き野守は見ずや君が袖ふる」の歌で知られる蒲生野。ロマンあふれる古代文化に触れるツアーに参加しました。



まず訪れたのは、愛知川のすぐ傍にある**河桁御河辺神社**（写真右）。境内にある石灯籠はその形の美しさから全国的にも有名で、重要文化財に指定されています。

次に向かったのは**万葉の森 船岡山**。市辺駅のすぐ傍にある小高い山で、ふもとの公園には薬草を摘む額田王や鹿を追う大海人皇子の姿が描かれたレリーフが。かつて貴族たちが薬猫を行った蒲生野が具体的にどの地域までをさすのかは諸説ありますが、この辺りに豊かな野原が広がっていたのは間違いないようです。

次の目的地は**あかね古墳公園**。

美しい
フォルム！



古墳時代中期に作られた県内では最大規模の5基以上の古墳で構成されています。少し険しい斜面を登り、見晴らしのいい頂上へ。近くの山には、かつて未盗掘の古墳が発見された雪野山古墳があります。この麓の古墳群も渡来系の人々のものが含まれるとか。

古墳を後にして、**宮井廃寺**へ。ここは畑に囲まれた木々がまばらに生える空き地で、気をつけなければ思わず見過ごしてしまいそう。宮井廃寺は白鳳時代の寺院で、この近くにある窯跡からは、寺院に葺かれていた瓦が見つかっています。（NHKのテレビ番組にも登場した、有力豪族である紀氏ゆかりの瓦です）

←河桁御河辺神社の石灯籠

案内人はこの方々



学芸員 西邦和さん

蒲生の歴史に詳しい 田中浩さん



右上／万葉のレリーフ
右下／宮井廃寺跡
左／あかね古墳公園
古墳に登るとい
うなかなかできな
い体験ができます



右上／山部神社
右下／山部神社の石造七重塔（高さ3m弱）→
中／石塔寺の急な階段（かなり足にきます！）
左／石塔寺の三層石塔



course

まんどころ
政所の茶畑風景

木地師ミニ展示館

東近江市君ヶ畑町

こんりゅうじ
金龍寺

東近江市君ヶ畑町809

おおきみきぢそじんじや
大皇器地祖神社

東近江市君ヶ畑町977

木地師資料館

東近江市蛭谷町176

工房きたの

東近江市蛭谷町193

きの花

東近江市政所町910-1

所要時間
6時間

木地師資料館

もうひとつの木地師発祥の地、蛭谷へ移り、筒井神社の境内にある**木地師資料館**を見学。現代の木地師、北野清治さんに案内していただきました。木地師に与えられた「往来手形」や、全国の木地師名を記した「氏子断帳」など、貴重な資料を見ることができました。続いて**工房きたの**へ。実際にろくろを回してカンナを使う様子も見せてくださいました。ここで求めた木目の美しい器は、一生ものの保証付きです。

最後に、川上さんご夫妻が営まれる**きの花**へ。製茶工場だった建物を改修した茶房は、机やランプなど見所満載。政所の水で淹れた政所茶の味と香りは格別でした。お茶を味わいながら伺ったお話では、政所茶で作った和紅茶が、銀座で2081600円で販売されているとか。専門家の評価も高く、台湾の銘茶・東方美人に並ぶとも。実際に飲んでみると、紅茶特有の渋みが全くなく、香りと甘みが広がります。政所茶に新たな魅力が加わりました。川上さんの人柄にも魅せられた一行は、再訪を約束して帰途に就きました。

奥永源寺の自然と共にこの地に

受け継がれる文化

や技。そしてその

魅力を輝かせるの

は「人」だと改め

て感じた旅でした。



きの花の政所紅茶

右・中上／北野清治さん
左／工房きたのの木製品
中下／きの花の政所茶

LOCAL SUMMIT field work 02

惟喬親王伝承と山の文化を訪ねて

寒風の中、曇り空は山に近づくにつれ雨模様。道の駅へ立ち寄った後、**政所の茶畑風景**を見学。急斜面に点在し、今も手摘みで収穫される政所茶は、在来種であるため、病害虫にも雪にも強く、無農薬、有機栽培であることも特徴です。雨に煙る茶畑の緑と、紅葉のコントラストが印象的でした。さらに山道を上がり、君ヶ畑へ。出迎えて下さったのは、地域おこし協力隊を経て、この地で「株式会社みんなの奥永源寺」を立ち上げた前川真司さん。**木地師ミニ展示館**で、ろくろや木地製品を見ながらガイドしていただきました。伝説では惟喬親王がろくろによる木椀づくりを考案し、その技術を里人に伝えたことにより木地師が起り、全国に広がったとされています。館内の自由帳には、長野や岐阜、山口から祖先のルーツを

訪ねて来たという書き込みが。続いて**金龍寺**へ。門には、金色の菊の御紋。表向きは曹洞宗のお寺ですが、親王が住まわれた「高松御所」としての特徴が随所に見られます。ここで改めて「木地師のふるさと高松会」の皆さんからお話を伺いました。地域資源を活かして地域振興をしたい、と地元有志で出資して立ち上げた高松会。パンフレットを作成し、指定文化財公開や史跡見学ツアーなどを企画、全国から来訪者を迎えて来られました。自分たちのアイデアと創意工夫で地域を元気にしていきたいと意気込んでおられます。

次に惟喬親王を祖神として祀る**大皇器地祖神社**へ。境内には樹齢千年を超す杉の巨木が聳え立ち、圧倒されます。年間、300〜400人の参詣者があるそうです。



木地師のふるさと高松会の瀬戸さん→

右／金龍寺
中／木地師ミニ展示館でお話いただいた
前川真司さん
左／大皇器地祖神社

学芸員 飯田充さん

学芸員 角川咲江さん

武藤恭子さん

案内人はこの方々





近江鉄道新八日市駅

布引丘陵^{えんたい}掩体群

冲原神社

東近江市東沖野3丁目11-1

旧湖東歴史民俗資料館
(車窓より外観のみ)

滋賀県平和祈念館

東近江市下中野町431

所要時間
5時間上／訓練飛行の様子
下／訓練機

(滋賀県平和祈念館展示パネルより)



込むための誘導路づくりや、飛行機を掩体まで引いて避難させる作業には近隣の住民や学生が集められ、人力で行ったとのこと。

冲原神社は昭和2年の創建。飛行第三連隊の隊長であった後藤元治により、飛行場に近い場所が選ばれました。かつては、西側に戦闘機の格納庫が並び、その南側には飛行機の引き出し線が整備されており、その一部が今も神社の周辺に残っています。現在敷地内には、八日市飛行場の唯一の遺物として飛行場の営門の門柱が移築され残されています。

最後に戦時の人々の暮らしを知るために**滋賀県平和祈念館**へ。ここでは、戦争当時滋賀県に住んでいた人・縁のあった人への戦争体験の聞き取り調査や当時の資料の収集・保存をしています。八日市飛行場や訓練用飛行機の写真パネル、当時の記録映像を見て、今回訪れた場所ひとつひとつが思い返されました。今に残るわずかな痕跡。そこから確かに重ねられたたちの歴史や激動の時代を生き抜いた人々の息遣いが、聞こえるようでした。



陸軍八日市飛行場と近代化遺産

かつて八日市のまちの中心に50万坪にも及ぶ飛行場があったことをご存知でしょうか。大正4年に日本初の民間飛行場として開設、大正11年には陸軍八日市飛行場となり、その後終戦までの約30年間、このまちは飛行場とともに近代化の道を歩みました。残されたわずかな痕跡を訪ねて、八日市地域から湖東地域を巡りました。

まちの近代化の大きな力となったものの、ひとつは鉄道です。最初に訪ねた近江鉄道**新八日市駅**は、大正2年に湖南鉄道の駅として開設しました。駅舎はもともと湖南鉄道の本社で、明治末から大正初期に建てられました。待合室のベンチは当時からのもの。外壁の色や内装は変わっているものの、往時の雰囲気は今に伝えています。

湖南鉄道は昭和4年に八日市鉄道となり、新八日市駅から飛行場駅まで延伸。さらに近江鉄道との

合併を経て昭和19年に近江鉄道八日市線となり、戦時下では飛行場への資材・兵員の輸送にも大きな役割を果たすようになりました。しかし終戦後飛行場の解体とともに新八日市から飛行場駅間の路線は廃止されました。

次に訪ねた**掩体**^{えんたい}は爆撃や空襲から軍用機を守るためにつくられたもので、飛行場のあった当時の様子を伝える重要な戦争遺跡です。コンクリート製のドーム型屋根を備えたもの、基礎のみコンクリート製で屋根は木製のもの、丘の斜面を掘ったり、平地に土塁を築いてつくられたもの、これらすべての掩体が残っているのは国内では布引丘陵のみで、現在17基が確認されています。掩体は特に終戦間際に多く作られましたが、コンクリート製のものは完成が間に合わず、使われることはありませんでした。掩体とそこへ飛行機をひき

案内人はこの方

学芸員 嶋田直人さん

右・中上／新八日市駅
中下／八日市飛行場の営門の門柱
左／柱基礎のみコンクリート
屋根が木製の掩体
(基礎部分のみ)右／コンクリート製ドーム型掩体
中／飛行機の引き出し線跡
(コンクリート部分)
左／冲原神社

テーマ01 おはなし「東近江市の歴史文化の特徴」 2017年10月30日


嶋田直人さん（歴史文化振興課）

- ・未盗掘の雪野山古墳（古墳時代）が平成元年に見つかりました。中からは三角縁神獣鏡が！
- ・東近江市は渡来人が多いんですよ。
- ・東近江のお寺の多くはもともと天台宗だったのですが、信長の比叡山焼き討ちの頃に多くが浄土宗や浄土真宗に変わったんです。

こんな意見がでました！

ゆい：毎日自転車で通るところが、嶋田さんの話に出てきた。

みさき：私も昨日、普通に通ったところが御代参街道やったかも。

歴史に驚き！

文化財が思っていたよりたくさんあってすごい

八日市南高校の発祥が、近江商人が私財をなげうって設立したとはじめて知った

百済寺が燃えていたのは知らなくてびっくりした

こんなまちになったらいいな！

となりの人がわかる町でいて欲しい

変わらず平和に

住民が地域を愛する町

バス代が高いバスの本数が増えるといいなあ

祭りがもっと盛り上がって欲しい

便利すぎず、不便すぎずこのままで丁度良い

みなみ（龍谷大学 学生）：私は高知県出身なんですけど、歴史の教科書に出てくる信長が、この地に実際にいたんだということにびっくり！


LOCAL SUMMIT work shop

高校生と考える、このまちの未来

わたしたちの住んでいるまちは50年後はどうなっているでしょう？いいえ、どんなまちにしたいですか？2日間のワークショップで、八日市南高校の生徒と一緒に考えました。助っ人は龍谷大学の学生たち。講師から2つのテーマで話題提供を受け、みんなで自由に話し合いました。

グループに分かれて自己紹介

テーマに沿って意見交換
◎ 50年後はどんなまちになってほしい？


みさき：交通手段が増えて欲しい。ガチャコンの本数、1時間に1本やもん。



あつただ：本屋さんができて欲しいなあ。五個荘は本屋がなくなったから。



城：ここが大阪みたいになったら嫌やな。大阪って近所付き合いないし、回覧板とかないねんで。



ゆい：うっそ！回覧板めっちゃまわってくんで。寺のこととか（笑）



みさき：トマトとかキュウリとかいっぱいくれる。玄関に大根が置いてあるし。（笑）



城：大阪は虫もおらんからセミとりとかもできへん。（笑）



みさき：そういえば、今年はホテル3匹くらいしか見てないわ。



城：3匹見れたらすごいやん！



みなみ：子育てにはいい環境やね。大人になってもここに残りたいって思う？



あつただ：名古屋とか大阪にも行きやすいし、残りたいなあって思ってる。



嶋田（講師）：住んでると気が付かへんけど、この辺は実は便利なんよ。



城：ほどよい田舎やね。



ひぐち あつただ
樋口 豊士

八日市南高校農学科2年生
(五個荘在住)

ガチャコンの本数が増えるといいな。東近江のいいところはそのまま、発展してほしい。

question 東近江のおすすめはどこ？

近江商人屋敷の街並み



おおた しゅんすけ
太田 駿介

八日市南高校農学科2年生
(湖東在住)

普段話すことができない大学生と話すことができてよかった。東近江のいいところは、身近な場所にすごい文化財があって、それらに興味を持ちやすいところだと思う。

question 東近江のおすすめはどこ？

ハナノキ 箸を差したら木になったという伝説があるんです。

取材を終えて
自分たちが暮らしている
まちの文化や自然について、改めて教えてもらおうと、知らなかったことがたくさんありました。また、都会に住んでいる大学生の視点からこのまちを見ると、実はいいところなんだなあと気づかされました。
社会に出ていく高校生たちが、これからも一緒にこのまちの未来について考えてくれたら心強いですね！



かつみ ゆい
勝見 結衣

八日市南高校農学科2年生
(竜王町在住)

一人暮らしのおばあちゃんがいるけど、近所の人遊びに来てくれる。いいところだなあと思う。

question 東近江のおすすめはどこ？

雪野山からの風景



さくらい りょうと
櫻井 峻登

龍谷大学
(五個荘出身)



自分の住む東近江市がなんだか廃れているような気がして、元気になってほしくて大学では政策学部を選んだ。ここだから住みたいとみんなが思える町になって欲しい。

question 東近江のおすすめはどこ？

太郎坊宮 高校生のとき、野球部の必勝祈願で登りました。

ローカルサミットで発表しました

文化財や自然に関する専門家に話を聞いて、これまで知っているような気でしたが、改めて自分たちのまちはすごいんだなと思った。このことを後輩たちにも知ってほしい

し、同世代の若者がまちのことを学べる機会を作してほしい。

テーマ02 おはなし「東近江市の生物多様性と人の関わり」 2017年11月15日

- ・鈴鹿山脈には1800種類もの植物が生息しています
- ・イヌワシもクマタカも生息する鈴鹿の山は奇跡的な場所なんです
- ・秋には琵琶湖から70cmのサケ(ビワマス)があがってくるんですよ！知ってます？



山崎亨さん
(アジア猛禽類ネットワーク会長)

東近江市の自然について

自然環境は残して欲しい

自分たちの暮らしている
町にイヌワシやクマタカ
がいるなんてすごいな

琵琶湖にサケがいるな
んて知らなかった！

自然がなくなると
人との交流も
なくなる

イヌワシ・タカカッコいい〜

過去と未来をつなぐ
環境づくりをするよう
になって欲しい

このまちのここが好き！

田舎っぽいところがいい

東近江の水・米が一番！



発表に緊張！

修学旅行で東京から帰ってきたら、空気がおいしかった！都会とちがってやっぱり地元はいいなって思った

おかべ(八日市南高校3年生)：知らないことがいっぱいあったので、知れてよかった。自分の住んでる地域の自然を知るのって大事だと思う。他の人にも知ってほしいな。





LOCAL SUMMIT a subcommittee meeting

Theme 01

東近江の
ものづくり

また、秋篠宮妃紀子さまが滋賀県にお越しになった際は、ここで帯留めを作られたそうです。100年以上にわたってこの地で培われた技術が、認められてのことでしょう。操さんは言います。「小さい頃は、母の仕事を継ぐなんて考えたこともなかった。けれど私も年を重ねていく内に、こういう技術は残さないといけないと感じるようになってきました。でも、手織りは経験が全て。母も88歳と高齢で技術を伝えてもらう時間も少ない。母は65年以上この仕事をしてきました。私は小さい頃に母の手伝いをしたことはあっても、本格的に始めたのはここ4、5年。この時間の差を埋めるのは大変です。けれども自分のできることはどんなことにも挑戦していきたい。母にしかできないこともあるけれど、私ならではのものを生みだしていきたい」



question

東近江のおすすめはどこ？
奥永源寺地域の湧水です。



伝統を紡ぐ真田紐

ガタンゴトンという音が心地よく響く工房で、織り機に向かっているのが、西村幸さんにしむらこうと娘の操さんみさお。日本で唯一、手織りの真田紐を生産しています。

真田紐とは、縦糸と横糸を平たく織った幅の広い紐で、軽くて丈夫なことから昔は甲冑の紐などに使われていました。一般には、戦国武将真田幸村が考案したと言われていますが、平安時代にネパールから伝わったという説もあります。

真田紐の魅力は、織物のような美しい模様ができること。その模様を生かして、現在では桐箱にかける紐や帯留めの紐として使われています。

幸さんが織った真田紐は、かつて皇后美智子さまの婚礼時に桐箱にかける紐として使われました。

い」。

真田紐に触ってみると、手触りがよく、織りの一つひとつが細やかです。糸を通す時に緩めたり、逆に張ったりすることによって綺麗な模様が出来上がり、触り心地も滑らかなものになるようです。取材中、織っている紐が絡まってしまふというハプニングもありました。これもまた手織りならではの難しさかもしれません。伝統を継承することの大変さを感じますが、一つひとつ丁寧に織り込められた想いが、この美しい紐へと結びついていくのを感じました。



中村豊さん (ゆたかマン)

野菜はもしろい！

「東近江で変わった野菜を作っている人がいる」という噂を聞きつけやってきたのは、市内6か所で野菜を栽培されている、農家の中村豊さんの畑。以前は大阪の飲食店で働いておられた中村さん。ある日食べた旬のホウレンソウの甘さに衝撃を受け、「調理をするより素材としておいしいものを作るほうが楽しいんじゃないか」と一念発起し、新規就農サイトで見つけた東近江の農園で修業開始。3年半後に独立し、「ゆたかマン」の愛称で、ひょうたん型かぼちゃのバターナッツやトゲトゲキュウリ、キクイモなど、珍しい野菜も含めて年間数十種類を栽培されています。

雪でおおわれた畑を見せていただくと、雪の下から大根とネギがひょっこり顔を出していました。その上をよく見ると、枯れたナスの姿が。中村さんに尋ねると『コンパニオンプランツ』を育てているんです」とのこと。

コンパニオンプランツとは、成長する上で互いに良い影響を及ぼし合う植物のこと。ナスとネギは相性がよく、ネギは病気を予防したり、連作障害を出にくくする効果があるんだとか。野菜たちが互いに助け合い、良さを引き出すとは…驚きです。中村さんの野菜づくりは、無肥料、不耕起栽培。水やりもせず、お天気任せ！もちろん、農薬も一切使いません。

ここで疑問が…。野菜と一緒に草もどんどん生えてきて、草刈が大変だし、栄養も草に取られてしまっているのでは…？「実は、その草がとてもしゃせんなんです」と中村さん。刈り取った草を野菜の根元にかぶせておくと、その草が野菜を寒さから守り、土壌も改善してくれる、おいしい野菜になるそうです。「雑草が伸びすぎると野菜に日が当たらなくなるので、ちょうど良い長さで刈り取るのが難しいんです」草が敵でなく味方だったとは…また、驚きです！

もらった「トゲトゲキュウリ」も東近江の気候でおいしく育ったんだとか。種ってスゴイ！「同じ東近江市でも、畑により土の性質が違うので、同じ種を蒔いても育ちがまったく違うんです。だからどの畑でどの野菜を育てれば良いか考えるのが、大変だけど、楽しみでもあるんです」と中村さん。「別のところに蒔くとよく育つたりして…うまくいかなことも多いけど本当に楽しいです！」中村さんの野菜への探求心はどこまでも知ります。

『無農薬だから』というだけではなく、『ゆたかマンの野菜だから買いたい！おいしいから買いたい！』と言ってくれる人をもっと増やしたい。今後も中村さんの畑はいろいろな野菜たちで、さらに賑やかになりそうです。

question

東近江のおすすめはどこ？

愛東地区のみなさん
みんなとてもやさしい！

とれたてのキクイモ

野菜はあいう直売館
などで販売中！

キクイモのキンピラ (3~4人分)

キクイモ……500g
ごま油……大さじ1
赤唐辛子(輪切り)……1本
白ごま……大さじ1

しょうゆ……大さじ2
みりん……大さじ2
酒……大さじ2
さとう……大さじ2

- 1、キクイモを洗って、土を落とし、千切りにする。
- 2、Aの調味料を合わせておく。
- 3、フライパンにごま油を熱し、キクイモと赤唐辛子を軽く炒め、Aの調味料を入れ、水分がなくなったら白ごまをふって出来上がり。



フィールドワーク、提案・検討を重ね、
1年をかりなげて考えてきた

ロゴマークの案が こちら!



学生さんから提案された27案の中から4案が選抜され、3月末に東近江市役所で最終プレゼンテーションが行われました。今後、よりよいものとなるように完成に向けて取り組んでいます。完成までもう少しお待ちください!

2017年に始まった制作活動は2年計画で取り組んでいます。今後はこのブランドロゴマークを使用してどのように展開していくかなど、市と一緒に広報の仕方を考えていきます!



12月1日に行われた「ローカルサミット」にも参加。午前中は元・地域おこし協力隊の前川さんに太郎坊宮や御池岳を案内してもらい、午後の分科会では、担当教員の大草教授からロゴ制作の過程を聞き、参加した学生が1人ずつ話一幕もありました。

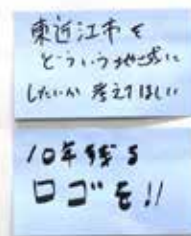
太 郎坊に地元の親子が来られていました。地域愛が感じられて、地元の方々がまちを元気にするんだなと思いました。

大 学に来るまで、滋賀は琵琶湖しかないと思っていました。フィールドワークを通して、地域愛・誇りと自信・エネルギーを感じました。それをロゴで表現できたら。



前 川さんが説明してくださっていると、周りにいた方が自然に集まってきて一緒に話を聞いておられて。私も自分のことまで魅力を語るようになりました。

私 も地元のいいところをPRしたいのですから、うまく伝えられません。前川さんの語りを聞いて、上手にPRするには地元のこともっと知ることが大事なんだなと思いました。



どんな「まち」か、よりも
どんな「まち」にしたいのか?
この言葉を胸に
制作に取り組んできました



成安造形大学
グラフィックデザインクラス3年
寺谷美紀さん

制作に参加している学生さんに、
お話を伺いました!

この授業で東近江に来て、滋賀の大学に通っていきながら滋賀のことを知らない、もっと知りたいと思うようになりました。来るたびに引き込まれる魅力があります。これから地域と関わることをしてみたい。実際に足を運ばなければ、そんな風に思うこともなかったと思います。

LOCAL SUMMIT a subcommittee meeting

Theme 03

ブランドを
生かした観光

成安造形大学の

モノを生み出す“人々”こそブランド!

学生とつくる ロゴマーク

東近江のブランド

どんな **ロゴマーク** を
つくることになったの??

「東近江市の素敵な特産品にロゴマークを!」そんな思いで始まった、市・観光物産課と成安造形大学の学生さんのロゴマーク制作活動。フィールドワークに訪れた成安造形大学の学生さんの第一印象は、「東近江市でものづくりをしている人は、とにかくむちゃくちゃ熱い!」でした。「も

のづくりはもちろん、地域への熱い思いを持った人々こそが東近江市の物産を象徴する重要な要素なのでは?」という学生さんの気づきから、地域に根づいて活躍する人々(新しい近江商人像)に焦点をあてるというコンセプトにたどり着きました。

学生さんが 東近江 にやって来た!

ロゴを制作するにはまず東近江市を知ることから、とフィールドワークにやって来た学生のみなさん。東近江で活躍している人にお話を聞いたり、景色を見たり。そこから見えてきたこと、わかったことがたくさんありました。



「今日はイヌワシを見るのに絶好の日！これから天気も良くなつて、上昇気流が出てくると飛びやすくなる」と山崎さん。期待に胸がふくらみます。1時間もしないうちに開けた場所にでました。澄んだ川。赤く染まる広葉樹。こんなところが東近江にあるなんて。すーっと深呼吸して、この景色を見ているだけで心が癒されます。

山崎さんから本格的な双眼鏡をお借りして、いざ観察開始！カラスが飛びはじめ、「なんだカラスか…」とっていると、「イヌワシがいるかも…」と山崎さんがぼつり。「カラスはいつもイヌワシに狙われる立場だが、すぐに飛び立てないイヌワシをからかう『モビング』という行動をとることがある。すると、うっとうしくなったイヌワシが飛ぶ可能性があるんだ」。なんとーそれは期待大！



LOCAL SUMMIT a subcommittee meeting

Theme 04

鈴鹿の森おこし



イヌワシに会いたい

イヌワシという鳥をご存じでしょうか。

「鳥の王者」ともよばれるイヌワシは、全国に260つがいしかいない貴重な鳥で、絶滅の危機に瀕しています。その鳥が東近江市に生息していると聞き、11月のある日、会いにでかけました。といっても、「そこら」取材陣だけではとても見つけられる気がしない…ということで、今回は1976年に滋賀県で初めてイヌワシを発見された、イヌワシのプロ、山崎亨さんに案内してもらいました。

東近江市にいるイヌワシはたった1つがい！だからこそ、情報が洩れぬよう当日までどこに生息しているかは秘密。なんだかドキドキします。

前日の雨の影響で身の引き締まる寒さの中、いざ山の中へ。



東近江で活躍中！地域おこし協力隊つうしん

地球を遊びつくそうぜ

能登川地域

平井 剛志 さん

やがて飲食店を経営したいという夢を持つようになった平井さんは、ただの店ではなく、地域と深く関わられるような店にしたいと願うようになりました。地域おこし協力隊として着任し、苦勞のすえ出会えた能登川駅前の物件は、築100年の味わい深い古民家。この場所

「20歳で解散するまで、パンクバンドのギターをやってたんです」そう語る平井さん。現在26歳の若きですが、これまで10を超える飲食店で働いたほか、路上詩人、ライブハウスのスタッフと豊富な経験を重ねてきました。「ヒッチハイクで全国を巡ったり、世界中を旅して歩いたこともありますよ」。

に世界中のビールが楽しめるカフェ&バー「ちきゅう屋」が誕生しました。これから地域の若者が集う場所になって欲しいと、ライブをしたり、街バルをしたり、テイクアウトができるようなお店に改装したいと夢を語る平井さん。発展途上のお店が、これからどう変化していくのか楽しみです。



ちきゅう屋
東近江市林町2-2
☎ 080-4019-5502
11:30~23:00
月・火曜日定休

question

東近江のおすすめはどこ？
能登川水車、カヌーランド
アウトドアが趣味です。



ふらりとやってくる近所のねこ



山崎さんの表情からイヌワシへの愛情が伝わります。どうしてもイヌワシに会いたい！とねばつたのですが…この日は残念ながらお目にかかれませんでした。「またおいで」というイヌワシからのメッセージだったのかもしれません。

「イヌワシは秘境にいていい。人がいたから棲めたんだ」と山崎さん。野生動物は、動物たちだけで生きているのではなく、人とのつながりで生きています。人が森に踏み込むことで棲みにくくすのではなく、人が入らないことで棲みにくくしている。最近では森林組合が伐採で手を入れることで、またイヌワシが棲める森へと変わりつつあります。

「日本人は千年以上にわたって多様性のある自然の中で生き、森の恵みによって人の暮らしを育く

んできた。けれど、戦後50〜60年であつという間に森の形を変えてしまった。だからこそ、次の世代にそのつけをまわさないよう間伐を行ったり、人が森の中に入ることでイヌワシが棲める良い環境を守っていかねければならない。イヌワシを守ることができたら、東近江の森はもっと良くなるだろう」と山崎さん。1つがいのイヌワシだけでなく、たくさんイヌワシが東近江の空を舞うことができるように。東近江の豊かな森を守ることに、人と森とイヌワシのきずなをより深める近道なのかもしれません。

ひたすら
空を見上げる……



八日市駅からほど近い本町商店街。昔からの商店が軒を連ねる中、新しいお店がじわりと増えているのをご存知ですか？この場所に集い、新しいスタートを切った皆さんにお話をうかがいました。

本町商店街を めぐる物語

レトロな瓶に恋して

銭湯での湯上りの楽しみといえは瓶ジュース。中でも、琥珀色のひやしあめは昔ながらの定番です。そのひやしあめを、東近江で作っている女性がいるというから驚きです。

香川県出身の南山みどりさんは、京都の美術大学に進学。大好きな銭湯でアルバイトをしているとき、そこへ瓶ジュースを卸していた工場がなくなるかもしれないという話を聞きます。おじいさんが1人で作っているということを知り「お風呂にある瓶ジュースをなくしたくない」と、いてもたってもいられず、工場へ通うようになりました。最初はためらっていたおじいさんも、足繁くやってくる南山さんに、少しずつ瓶ジュースについて教えてくれるようになってさう。



南山鉦泉所
南山 みどりさん

question

東近江のおすすめはどこ？

色々ありますね。つりぼりトム・ソーヤ、延命山の首だけ見えるタコとか。

機械の導入は難しいため、一本一本が手詰め。材料は、水飴、自ら摺って濾したしょうがエキス、カラメルが入っています。特に水飴はこだわりのものを使用しており、「これがおじいさんの秘密です」と南山さん。おじいさんの味に近づけて甘めに作っているとのこと。

紆余曲折を経て、『南山鉦泉所』と屋号を掲げ、縁あって住まうことへ

行ってみたと思う町に

本町商店街北側にある古い洋館を改装した『HONMACHI 93』には、個性と魅力のある小さなお店が集まっています。考案したのは日野町出身の北浦耀司さん。平成28年に地域おこし協力隊として東近江にやってきました。

「田舎の生活が好きです。半給半足もできたらいいですよ」。京都の大学に進学しましたが、いずれこちらに戻ってくるつもりでいました。そんなときに知ったのが、ヴォーリス



COUYA
北浦 耀司 さん

question

東近江のおすすめはどこ？

ミスターシーボース（洋食屋さん）

建築である旧住井歯科医院を利用して活動する、地域おこし協力隊の募集。革細工をしている北浦さんは、何人かで場所をシェアできるような物件を探していました。その後色々な縁があつて、現在は4つのお店が入り、北浦さんもカフェバー『COUYA』を経営しながら革細工の仕事をしています。「八日市が、京都の出町や東京の下北沢のような素敵な素敵なお店が集まる場所になって、外から人を呼べるようにしたいですね」。

近くの古民家を知人と借りて、民泊もオープン予定。北浦さんが携わったところから、熱がじつくり伝わるように少しずつ、でも確実に、人が訪れる場所に変化しています。

カフェバー COUYA

八日市本町7-6
(HONMACHI93内)
www.kitauraworks.com
12:00～24:00
月～水曜定休

南山鉦泉所の瓶ジュースは『COUYA』『KOKON～江近～』で飲むことができます！
(H30.2 現在)



夜のHONMACHI93。良い雰囲気です



新たな本との出会いを

六畳ほどの部屋に並ぶ本は、全て店主・宇野爵さんこだわりのセレクト。『HONMACHI 93』内に店を構える小さな本屋さん『unonohon』です。以前は京都の大き

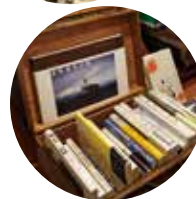


unonohon

八日市本町7-6 (HONMACHI93 内)
www.facebook.com/unonohon
21:00~24:00
火・水曜定休



unonohon
宇野 爵 さん



question

東近江のおすすめはどこ？

新八日市駅、永源寺ダム

な書店で働いていた宇野さんが、北浦さんとの縁もあり、お店を始めることになりました。

「自分が本を読む場所が欲しくて」という言葉通り店内は、ただ本が並ぶだけではない、居心地の良い空間です。自身の蔵書と新刊書を扱い、様々なジャンルの本が独自に分けられた書棚は、時間を忘れて見入ってしまうです。中でも、本にまつわる本や、宇野さんの好きな村上春樹の本が充実。また、すぐ隣の北浦さんのカフェバー『COUYA』にも本が並び、コーヒーなどを飲みながら本を読むことができます。そして深夜24時まで営業ということで、夜のあかりが灯った趣のある本屋さんを楽しめる場所になっています。

「本屋をやりたいという人がいたら、やり方をお教えしたいですね。」

HONMACHI 93

そこら3号にも掲載の、ヴォーリズ建築である旧住井歯科医院の2階を利用。カフェバー『COUYA』、革細工『kitaura』、本『unonohon』、服飾雑貨『安高製作所』、雑貨『結く』の5つの店と貸しギャラリーがあります。歯科医院の名残りや装飾など、建物見物も楽しめます。



パンの香りと人の集う場所

北浦さんと同じく八日市駅前の活性化のため、地域おこし協力隊として活動している吉田健一郎さん。本町商店街の空き店舗を利用して、平成29年6月にパンカフェ『KOKON〜江近〜』をオープンしました。

引越してきた日は大雪で、少し心配になったそう。それでもすぐに自分たちで店舗のリノベーションを始めました。「商店街の人と交流したかったんです。カウンターにおじ

いちゃんおばあちゃんが座ってくれたりしたらいいなと」。以前は、三重でまちおこしに携わっていた吉田さん。東近江へ来て、行事にも積極的に参加して動画を撮り、お店の前でその様子を流しています。すると、お店の前を通った親子連れが「パパや」「あれオレかな」などと足を止めてくれるそう。「近くのお店の方が三代代でパーティしてくれたり、奥さんがお友達を連れて来てくれたりして。うれしいです。地域の人

に少しずつ受け入れてもらえたら」。移り住んで1年足らずですが、すっかり地域に馴染まれているように見えました。

お店の料理は吉田さんが、パンは奥さんが作っています。地元の食材を多く使うなど材料にこだわり、お隣の精肉店『佐乃屋』のお肉も使っています。今では地域のイベントに出店したり、商品の依頼が来たりと引っぱりだこ。今後は「ラジオをしたいですね。ミニFMを商店街で」と吉田さんの夢はふくらみます。

長く愛されながらのれんを下ろすお店もある一方、こうして新たな場所が生まれています。商店街で70余年精肉店を営む、佐乃屋の平岩さんは「いや、うれしいです。やっぱり全然違いますよ。人が通るだけだね。よう吉田くんが揚げもん買いに来てくれます」と嬉しそうに話します。本町商店街がどのように変化していくのか、今後がますます楽しみです。



KOKON〜江近〜
吉田 健一郎 さん

question

東近江のおすすめはどこ？

延命新地、太郎坊宮



KOKON〜江近〜

八日市本町7-8
☎0748-29-3645
www.kkn6po.com
11:00~22:00
月・木曜定休 (及び催事日)



看板猫に会いに

背中白いところがあるのび、
「せしろ」と呼ばれるようになったよ!



たくさんの人に
愛されています★



湖東地域にある直売所『味咲館』に行くとき猫に会えると聞き、わくわくして伺ったところ、ちょうどお昼寝の真っ最中。「せしろ」ちゃん（オス）は4年ほど前にやってきて住みついたのだそう。今では『味咲館』の人気者。人懐っこくおとなしい性格で、誰が来てもマイペース。ふらりと出かけて、近所のお家ではなんでもらったりしています。出入り口のイスで寝ていることが多いですが、愛くるしい寝顔は、訪れる人を幸せな気持ちにさせてくれます。

すやすやお昼寝♪



びよ〜ん
びもおとなしい
せしろちゃん

起きているときも
ありますよっ



味咲館

東近江市横溝町424

☎0749-45-0335

9:00~17:30

月曜定休（月曜が祝日のときは翌日）



いつも寝てるな〜（笑）

おまえは
しあわせもんやなあ〜



東近江市の

地酒は

いかが？



東京のアンテナショップ「ここ滋賀」でのイベント「Higashiomori 日本酒V/L」の様子

よい水、よい米があるところに、名酒あり。

東近江市には、6つもの酒蔵があるのをご存知ですか。鈴鹿山脈を源とする、愛知川の豊かな伏流水と、近江米で醸造されるお酒は、古くから地元で愛され続けてきました。

今、若手の蔵元が誕生し、日本酒の魅力を広める新たな取り組みを展開することで県外の方や若者からも注目が集まっています。オシャレなラベルや瓶も多く、材料や味にもこだわった銘柄が次々に誕生し、日本酒愛好家をうならせています。地元の材料で、地域が育てたいろんな味の地酒から、お気に入りの一本を見つけてください。



近江龍門

近江酒造（八日市上之町）

冷やしてすっきり、熱燗にすると旨みが増すのが特徴で、全国の熱燗コンテストで最高金賞を連続受賞。



喜楽長

喜多酒造（池田町）

旨みのある辛口純米吟醸。絶妙なまろやかさとコクのある味わいがあり余韻の辛さが特徴。



一博

中澤酒造（五個荘小幡町）

甘めうまみがある一方で、後味がすっと切れ、飲み飽きない。



大治郎

畑酒造（小幡町）

味のあるうま口タイプ。原材料にこだわり、地元の契約農家から酒米を仕入れている。



近江藤兵衛

増本藤兵衛酒造場（神郷町）

搾りたてを瓶詰めし、口当たりがやわらかい無濾過の生酒。



稲玉

奥野酒造場（下二俣町）

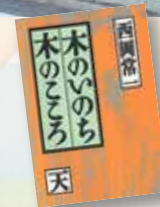
生酒を杉樽から直接瓶詰めし、杉の香りやフレッシュ感がある。



よし葺屋根のおうち

地域の素材だから、よし葺きの屋根を残そう
と思えるきっかけ作りをしていきたい

真田 陽子さん



『木のいのち 木のころ』
西岡 常一（草思社）

五個荘の旧街道沿いにひとときわ存在感を放つ、よし葺屋根の家があります。古い民家を再生して住まいにしたのは、真田陽子さん。

中学生のころ、奈良の法隆寺の解体・修理の棟梁・西岡常一の著書を読み、彼の生き様や「千年の木やったら、千年は生きるようにせな、気に申し訳がたちません」という言葉に感銘を受けた真田さん。「大工になりたい!」と、日本の木造建築に興味を持ちました。大学で日本建築を学び卒業後、設計事務所で働きながら建築士の資格を取得しました。「たとえ大工になれなくても、自分の手で何かを作れる職人になりたい!」と強く思っている中、通勤途中に西の湖に生えるよしを眺めていると、建築物の中でも特に好きな「屋根」

と「よし」がつながり、「これだ!!」と思ったのだそう。そこから、よしで屋根を葺いている親方が近江八幡市にいと知り、弟子入り。「職人になりたい」という夢の一步を踏み出しました。

よし葺き屋根の魅力について訊ねてみると、「現在使われている建築材料の多くは、使い終わると産業廃棄物となり捨てられてしまうけれど、よしは朽ちて土に戻ります。またそこから新しいよしが生える。自然の中で循環していく屋根であることが、最大の魅力です」と笑顔で話す真田さん。本によしが好きなのとが伝わってきます。

譲り受けた五個荘地区の古民家をリノベーションする間、屋根にあがって作業をしていると、地域の皆さ

んが足を止めて温かい声を掛けてくださったそうです。

ゆくゆくは地域の方たちが気軽に遊びに来られるような場所にしたと語る真田さん。「よしが好きで、屋根を葺くのが好きだから、ずっとこの仕事をしていたいというのが一番の夢です。そして、家を建てる時に新築に住みたい人だけでなく、おじいちゃんが住んでいた100年前の古民家をリフォームして住みたい人や、地域の素材だからよしを屋根の材料として使おうと思う人が増えたらいいなと思っています」とこれからの夢を教えてくださいました。

とても穏やかな笑顔で目をキラキラさせながら話す真田さんの中に、地域への思いや自然への尊敬の念を強く感じました。



question

東近江のおすすめはどこ？
瓦屋寺



サイクルトレインってなあに？

近江鉄道では、電車内への自転車の持ち込みができます。
平日は9時～16時、土日は終日可能。乗車券のみで利用できます。
「万葉あかね線（新八日市～近江八幡）」内各駅、及び彦根駅・水口石橋駅では利用できません。

詳しくは、下記の近江鉄道のホームページをご覧ください。

<http://www.ohmitetudo.co.jp/railway/cycle/index.html/>



ホームによっては階段をわたる必要があり一苦労。無理せず、十分に気を付けて！

老舗の和菓子屋 親玉本店



AM 9:55



本町商店街を散策



三色団子をゲット！



『パンカフェ KOKON ～江近～』では焼きたてのパンが買えます。
(オープン は am 11:00)



子どもを乗せてサイクリング。たまにはいつもと違うまちを走りませんか。近江鉄道の「サイクルトレイン」を使えば、自転車を電車に乗せていつもと違うまちでのサイクリングが楽しめ、子どもも大人も大満足！今回は、八日市～五個荘のルートを紹介します。ガチャもりで一味違うサイクリングをしてみませんか？

AM 9:34



電車まだかな～



Let's Go!!

八日市駅下車



降ります～



改札も通れます



こんな切符です★

AM 9:28

大学前駅乗車



どんどん行くよ！



おーい 待って～





滑り台たのしー!



事故なくサイクリング
できますように!

駅近くにある公園。
遊具もいろいろあります。

近江商人屋敷が並ぶ金堂地区。
風情ある町並みをサイクリング。

金堂のまちなみ



AM 11:25



五箇荘中央公園

AM 11:18



五箇荘駅下車

八日市駅乗車
AM 11:11

AM 10:05



八日市図書館

野々宮神社

AM 10:20



何を
借りようかな〜?

図書館で絵本を読んだり、ぶらぶらしたり。
借りた本は市内のどの図書館でも返却できます。



鯉がいるよー

ステキ



楽しかったね。
おつかれさま!



See you

ガチャもリ パパの感想

おいしいお店を発見したり、小道
の風景を楽しめたり、冒険気分で
満喫できました! 電車に乗り遅れ
ると大変なので、時刻表を調べ
て楽しんでください!!

電車に乗ってお出かけ
楽しかったー!



昔の写真から東近江を読み解く

60年に1度のお祭り

60年に1度行われる押立神社の古式祭。地元では「ドケ祭り」と呼ばれています。この写真は、前々回行われた明治45年の祭りの様子。笄や太鼓、鉦などのリズムに合わせて、長襦袢と陣羽織袴に鬼面や般若面をかぶった踊り手が「ドッケノ、ドッケノ、シッケノケ」とはやしながら披露する「ドケ踊り」が大きな特徴の一つです。古式祭は、西暦978年に、押立山三瀬嶽に鎮座していた神様を現在の神社の位置に移した時の行列を再現していると言われています。その際に、鬼がでて神様が通るのを助けたと言い伝えられていることから、鬼面で踊るドケ踊りが伝わっているそうです。

押立神社宮司の文室久明さんは、「子ども心ながら、すごい勇気だったことを覚えています」と話されます。文室さんが子どもころに見られたのは、昭和46年のことで、直近の古式祭です。当時は、80歳前後の皆さんが、60年前の記

憶を辿りながら、若衆たちに踊りを伝えていたそうです。「農業が中心だった昔と違って、今は会社へのお勤めが中心となっている。そうした中で、伝統芸能を継承していくことは、どのお祭りでも大変なことです」と話される文室さん。それが60年に1度のお祭りとなると、もっと大変です。

そこで、昭和46年の古式祭で活躍した踊り手の皆さんが中心となって保存会を結成され、年に1度の押立神社の節分祭でドケ踊りを披露されています。また、地元の湖東第二小学校の子どもたちにドケ踊りを指南するなど、伝統祭祀の継承に努めておられます。文室さんは「子どもたちは踊りを覚えるのが早い。節分祭で子どもたちがドケ踊りを見に来てくれたりするんですよ」と嬉しそうに話されます。

60年に1度のお祭りは、人と人をつなぎ、次世代へと受け継がれていきます。次の古式祭は2031年。急がず、ゆっくりと、その日がくるのを待ちたいと思います。

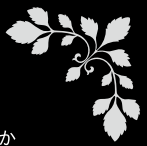




ミツバチが繋ぐ幻の銘酒



ひやくさいじたる「百済寺樽」の物語



愛東地域
ひが あやか
比嘉 彩夏 さん

室町時代の織田信長による比叡山焼討ちは有名ですが、天正元年（1573年）東近江市百済寺町にある百済寺も焼討ちにあつてしまった事実をご存知ですか。そして、その焼討ちから444年の時を経て、一人の女性を中心に幻の銘酒「百済寺樽」が復活しようとしています。

百済寺は、飛鳥時代に聖徳太子の勅願で創建された、県内で最も古いお寺の一つ。天台宗の寺院として平安時代から室町時代にかけて最も繁栄しました。そして、その頃百済寺で醸造されていたお酒「百済寺樽」が、室町將軍の御用達のお酒として幕府や朝廷に献上されていました。

愛東地域の地域おこし協力隊の比嘉彩夏さんは、大学時代に米の研究をしていて、農業に憧れを抱いていました。また、大阪で養蜂をしていたこともあり、菜の花プロジェクトをきっかけに

東近江市の愛東を知り、地域おこし協力隊に応募したとのこと。この地域では日本ミツバチが生息しており、ハチにとつて特に環境が良いのは百済寺でした。そこでハチ箱を置かせてもらうために百済寺を訪れ、ご住職と出会いました。百済寺と比嘉さんの出会いのきっかけは、百済寺樽ではなく、ミツバチだったのです。

百済寺の歴史を学ぶにつれて、「百済寺の奥深さをもっと知ってもらいたい」との思いを抱いた比嘉さん。ちょうど地域おこし協力隊の活動も1年が過ぎ、地域のひと組んだ活動をもっと活発にしたいと考えていました。その時、以前ご住職から聞いた幻のお酒の話を思い出します。地域のひとと一緒に百済寺樽を復活させ、たくさんの方に百済寺の良さを知ってもらいたい。そんな思いでプロジェクトを企画しました。

ご住職に自分の思いを話したと

ころ、すぐにその話に乗ってくれ、米作りを営む地元農家の藤田さん、株式会社喜多酒造の喜多社長にメンバーになってもらい、プロジェクトが始動。

当初は、「大丈夫か」と周囲から心配されるほどの勢いで進めていきましたが、途中から百済寺の名前を背負っていること、地元からの期待を受けていることに対してプレッシャーを感じることもありました。けれど愛東地域の人々の思いを励みとして、とうとう完成にたどり着きました。

かつての百済寺樽の味は、みりんに近く甘いものだったそうです。

二代目百済寺樽は、現代の人にあつた味にするため、このプロジェクトに関わった人たちみんなで水と原酒の割合を考えて味を決めました。ここには、比嘉さんの「みんなが集まったときに食事を囲みながら飲むお酒を作りたい」との思いが詰まっています。

比嘉さんの地域おこし協力隊としての任期は2018年12月まで。最終年の今年は、百済寺樽の生産と並行して農家民宿を始める予定です。農家民宿では、地域の方、そして県外から百済寺を訪れた方に百済寺樽を振る舞う

とのこと。

百済寺樽をきっかけとして、多くの人たちに百済寺と愛東地域の良さを知ってもらうことを期待しています。



百済寺樽プロジェクト事務局
☎ 080-4232-8533（担当・比嘉）

question

東近江のおすすめはどこ？

百済寺の庭園

四季折々の風景が素敵です。





そこら

第5号
2018年3月31日発行

編集 / そこら編集委員会
発行 / NPO法人 まちづくりネット東近江

[編集協力]
東近江市立図書館
第10回ローカルサミット in 東近江実行委員会

[取材や編集でお世話になった方々]
東近江市教育委員会歴史文化振興課
取材に協力いただいた皆様

[お問い合わせ]
NPO法人 まちづくりネット東近江
〒527-0023 滋賀県東近江市八日市緑町4-1
☎ 0748-56-1277 E-mail: info@e-ohminet.com

第10回ローカルサミット in 東近江実行委員会 (東近江市森と水政策課)
〒527-8527 滋賀県東近江市八日市緑町10-5
☎ 0748-24-5524 E-mail: morimizu@city.higashiomi.lg.jp

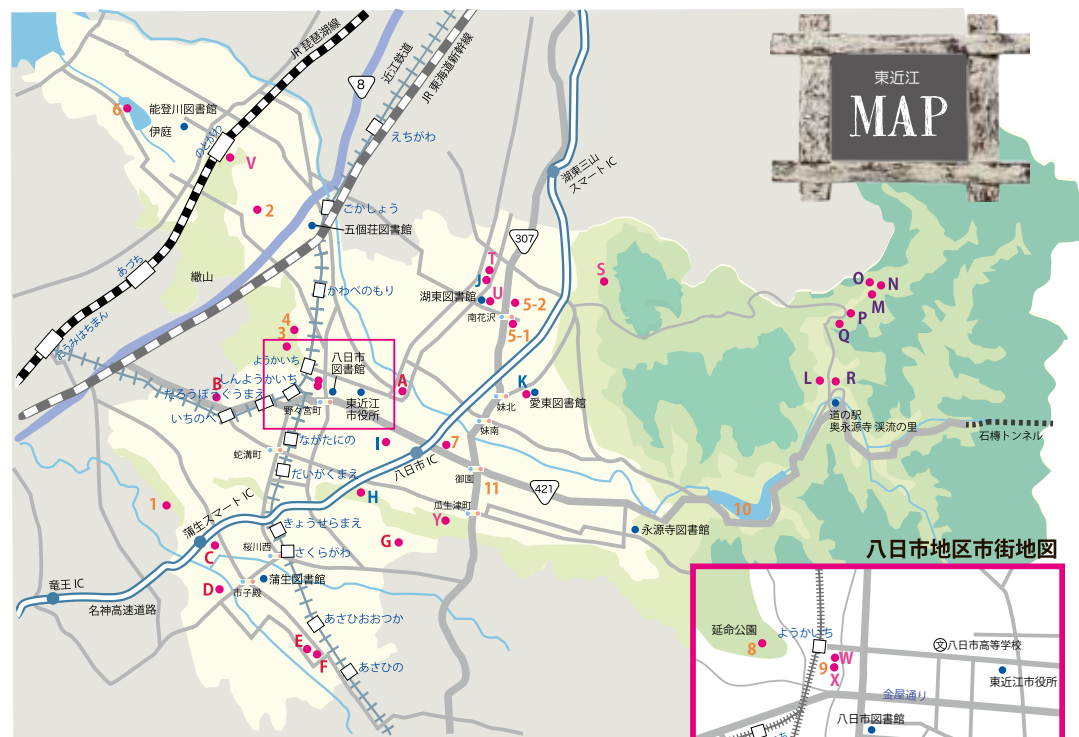


こちらからバックナンバーをお読みいただけます。
→ <http://www.library-higashiomi-shiga.jp/>

[編集委員] (五十音順)
狩野 桃江 栗田 豊一 齋藤 民男 佐子 都
嶋村 映利佳 谷 佑一郎 庭田 恭平 羽泉 亮太
松浦 純子 森下 瑠美 山梶 瑞穂 山口 美知子



この用紙は「びわ湖の森を元気にする」
kikitoペーパーを使用しています。



紹介させていただいたお店・施設

- A** 河桁御河辺神社
かわけたみかべじんじや
神田町381
- B** 万葉の森 船岡山
糠塚町・野口町
- C** あかね古墳公園
川合町1386
- D** 宮井廃寺
みやいはい
宮井町
- E** 山部神社と赤人寺
やまべ しやくにんじ
下麻生町214
- F** ガリ版伝承館
ふしうわでんしょうかん
蒲生岡本町663
- G** 石塔寺
いしどうじ
石塔町860
- H** 布引丘陵掩体群
ふひりやうりゅうおもりぐみ
- I** 冲原神社
おきわらじんじ
東沖野3丁目11-1
- J** 旧湖東歴史民俗資料館
きゅうことうれきしむぞくしりょうかん
- K** 滋賀県平和祈念館
しかがけんへいわいのんかん
下中野町431
- L** 政所の茶畑風景
まんどころ
政所の茶畑風景
- M** 木地師ミニ展示館
きでしミニしんしやうかん
君ヶ畑町
- N** 金龍寺
きんりゆうじ
君ヶ畑町809
- O** 大皇器地祖神社
おほきみきぢそじんじ
君ヶ畑町977
- P** 木地師資料館
きでししりょうかん
蛭谷町176
- Q** 工房きたの
くわうらきたの
蛭谷町129-2
- R** きの花
きのはな
政所町910-1
- S** 百済寺
ひやくさいじ
百済寺町323
- T** 押立神社
おしだてじんじ
北菩提寺町365
- U** 湖東味咲館
ことうあじかん
横溝町424
- V** ちきゅう屋
ちきゅうや
林町2-2

- W** HONMACHI93
八日市本町7-6 (本町商店街)
- X** パンカフェ KOKON 〜江近〜
八日市本町7-6 (本町商店街)
- Y** ゆたかマンの農園
上大森町1941-27
(野菜はあいとう直売館などで販売中)

みなさんのおすすめスポット

- 1 雪野山
- 2 近江商人の街並み
- 3 太郎坊宮
- 4 瓦屋寺
- 5 ハナノキ (北花沢・南花沢)
- 6 能登川水車とカヌーランド
- 7 ミスターシーホース
- 8 延命公園 タコの遊具
- 9 延命新地
- 10 永源寺ダム
- 11 つりぼりトム・ソーヤ



そこら

第5号

2018年3月31日発行

編集／そこら編集委員会

発行／NPO法人まちづくりネット東近江